

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ブランド「南信州果実酒バレー」の発信
事業主体 (連絡先)	松川町 0265-36-7027
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,791,359 円

事業内容

①シードルセミナー各種

- 4月13日 第1回シードルセミナー:参加者30名(定員30名)
「シードルデザイン講座」
「酒税法の仕組み&表示について」
- 6月22日 第2回シードルセミナー:参加者32名(定員30名)
「果実酒と果実酒類の製法品質表示基準を中心とした酒類の表示について」
「醸造所・蒸留所見学(信州まし野ワイン㈱)」:参加者21名(定員30名)
- 8月22日 第3回シードルセミナー:参加者21名(定員30名)
「テイastingセミナー」
- 12月20日 第4回シードルセミナー:参加者 35名(定員30名)
「世界の最新食品トレンドから学ぶグローバル化」
- 2019年3月1日 第5回シードルセミナー:参加者60名(定員50名)
「シードル用加工用品種の可能性について」

②PRイベント

- 7月7日 銀座NAGANOシードル解禁イベント
参加者 85名(定員100名)
- 8月3-4日、10-11日、17-18日 クッキングスクールの開催144名(定員1教室26名×6回=156名)
- 10月13日「南信州シードル列車」の運行
参加者 42名(定員80名)



【シードルセミナーの様子】

【目標・ねらい】

- 南信州地域全体にシードル挽歌を広め、付加価値の高いシードルを通して観光・交流人口の増加につなげる。
- セミナーとイベントを通して、町内外からの参加者が情報交換をし連携を深め、関係者のスキルアップへつなげる。

※自己評価【 B 】

【理由】

セミナー、イベントともに好評であり、セミナーは各回ほぼ定員以上の参加者があったが、イベントについては目標を高めるに設定したこともあり参加者は6割程だった。

事業効果

- 今回のセミナーやイベントの実施などを通じて「南信州シードル」ブランドを全国、全世界に発信していく重要性とノウハウを学ぶことができました。
- 5回開催したセミナーでは、第3回のテイastingセミナー出席者は定員の7割だったが他の回は定員を上回る参加者が町内外からあり、情報交換や連携を深めることができました。
3回実施したPRイベントでは、定員目標を高めるに設定したため予定していた定員には達しなかったものの、シードルに関する意識の高い参加者ばかりで、シードルと合わせてPRした南信州の食材も好評でした。

今後の取り組み

今後も南信州のシードル関係者などとの連携を深め、需要振興に努めるとともに、勉強会等による協会会員のスキルアップや農作業の共同化、省力化のためのシステムの構築をしていきます。